

3班(銀座大学)

- 前提条件: 図書館始動で理事会に構築の提案をする
- 大学規模: 総合私立大学、2キャンパス(銀座と軽井沢)、社会人大学院保有
- 学部数: 合計4学部(文系2、理系2)
- 学生数: 約1万名
- 専任教員数: 約500名

銀座大学 創立50周年記念事業

銀座から世界へ

銀座大学機関リポジトリ導入
-学術研究の発信-

2010年8月27日 銀座大学 銀座キャンパス
図書館 ワーキンググループ

概要

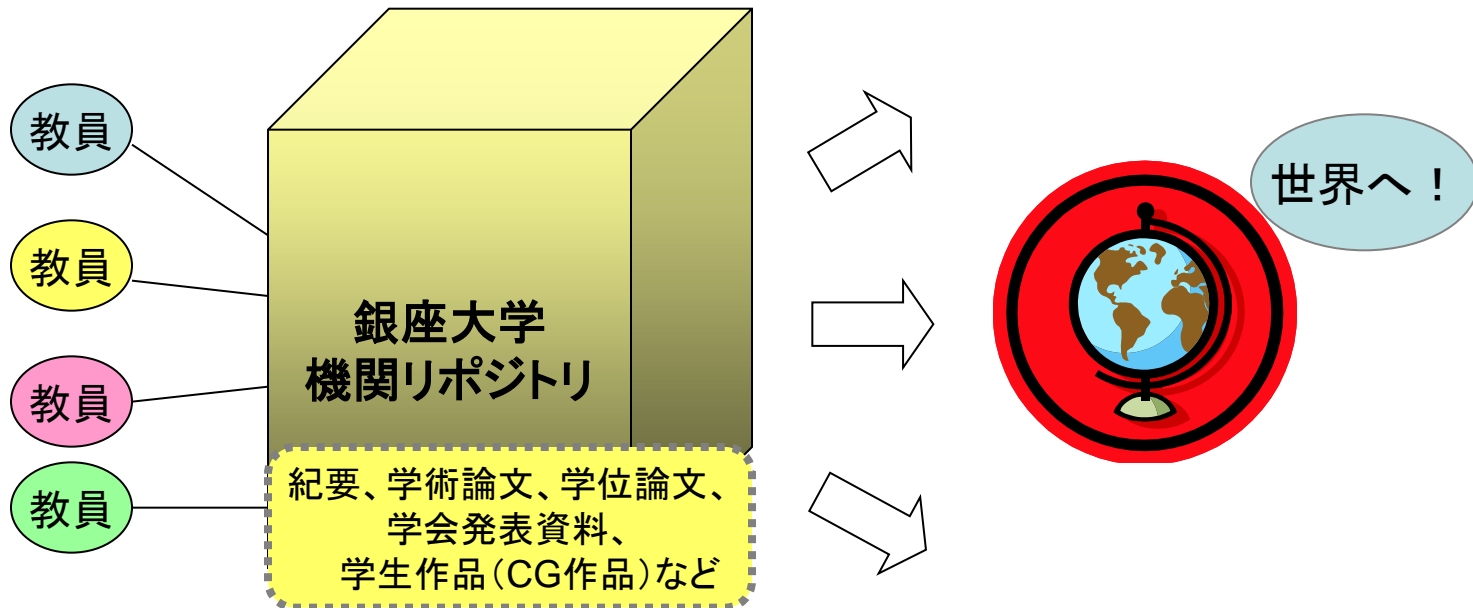
- 機関リポジトリとは
- 取り巻く環境
- 公開による効果-大学と教員にとって-
- 予算
- 公開までのスケジュール

機関リポジトリとは

大学の教育、研究活動の**成果物**

→**収集・保存**

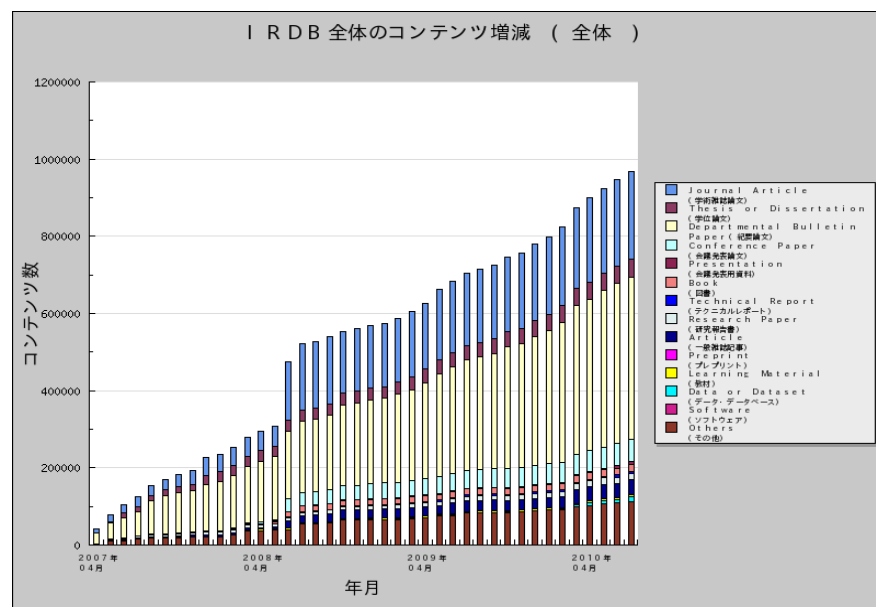
→インターネット上で**無料で利用**



取り巻く環境

- 全世界 約1700機関
(2010.8.9現在 OpenDOARによる)
- 日本 183機関
(2010.3.31現在 NII統計による)
 - 国立大学の8割以上、私大 約50校
 - フルテキスト62万件以上
 - 学術雑誌論文、学位論文、研究成果報告書、教材など多岐にわたる。
 - 約5割が大学紀要論文

<コンテンツ数の伸び>

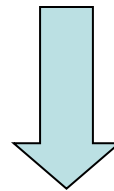


本学にとってのメリット

研究教育活動の発信

社会に対する説明責任

国際発信力の強化



大学の認知度アップ、ブランド力の向上

朝日新聞社「大学ランキング」評価項目に
2010年度版から「機関リポジトリランキング」が登場

研究者にとってのメリット

研究成果のインパクト向上

視認性の向上、被引用機会の拡大

研究成果の管理、保存が容易

予算

(単位：千円)

| 費目種別 | |
|-------------------------------|-------|
| 設備費(ハードウェア+導入一時経費+保守費(当初5年間)) | 2,000 |
| 委託業務費(外注による開発費) | 1,700 |
| 契約費(ハンドルシステム(CNRI)登録費用) | 10 |
| ソフトウェア(オープンソースのため。DSpaceを検討) | 0 |
| 計 | 3,710 |

公開までのスケジュール

＜現在までの経過＞

平成21年度 図書館内WG発足(9名)

平成22年度 研修参加等情報収集

＜今後のスケジュール(案)＞

平成22年9月～ 予算概要等学内説明

12月 システム納品、メタデータ作成等

平成23年1月 外部向け試験公開

4月 機関リポジトリ公開